

2024年10月15日(火)

R6年度 第2回サイエンスダイアログ報告

(受講者: 2・3年生理数コースの生徒)

今回は国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学的研究センターより Dr.HUNG,F 氏をお招きしました。Dr.の研究内容である「植物メリシステムで細胞増殖をエピジェネティックに制御する仕組みの解明」や、出身地である台湾の概要について英語で講義を受けました。

【生徒の感想】

- ◆どのような原理でそのテクノロジーが使われているのかを知ることができた。応用の仕方もわかった。
- ◆遺伝子について詳しく聞くことができた。
- ◆物理選択だが、生物にも興味が持てた。
- ◆専門用語が多く難しい内容もあったが、そのことで英語に対する学習意識が高まった。
- ◆台湾の文化や政府のことを知ることができてよかったです。

生徒が「制御された遺伝子を順番にリセットしていくと、未分化の状態に戻るのか?」という質問をしたところ、「それは実は難しい」とのお答えをいただきました。遺伝子の解明についてはまだ未だ未知の部分があるということ、そこに研究の意義があるということがよくわかる言葉でした。また、Dr.は季節の変化による植物の遺伝子制御についてお話しされました。特に 冬⇒春における植物の姿の変化の多様性と、遺伝子制御への応用についてのお話はとても興味深いものでした。 (令和6年度のサイエンスダイアログは第2回で終わりです。)

